

### 320) 遊び疲れたマリオネット

夏の初めに夢中になった 愛は叶わず秋は来たりぬ  
窓を開ければ金木犀の 花の香りが広がってくる  
透き通る風のそよぎに 包まれて君を想えば  
一瞬は出逢いしころの ときめきが心行き交う

午後の陽射しに鶏頭の花 洋紅く熟して秋はすぎゆく  
夏の名残りは一雨ごとに 大地に還り季節は移る  
君のこと思い出すたび 絶望が心をふさぎ  
10月をあわただしくて 足早に駆け抜けて行く

人も大地も 梢の鳥も すべてのものが秋に着替えて  
遊び疲れたマリオネットは おどけるように心を閉ざす  
哀しみを笑顔に変えて 寂しさと向き合えたなら  
今までは気づかなかった 優しさに逢える気がした

心に刻む愛があるから 時空をさまよい明日を迎える  
できることなら友達として 遠くのほうで見つめていたい  
絶望の底まで落ちて 這い上がる勇気があれば  
どんよりと翳った雲の 隙間から希望がみえる